

浜松市議会議員

田口 章 後援会  
だより

お気軽にどうぞ

昼 053 - 447 - 3820

夜 053 - 440 - 7100

平成 20 年 3 月 3 日

創ろう！元気な浜松

# やすともカラー満載

浜松市議会 2 月定例会中間報告

## 平成 20 年度予算(案)を審議中

浜松市議会では、2 月 20 日から 3 月 21 日の会期で 2 月定例会を開催しています。すでに平成 19 年度補正予算審議を終え、現在、議会では平成 20 年度予算案を審議中です。

私は「環境経済委員会」に所属していますので、今後、産業政策や環境・衛生関係予算の審議に携わります。委員会の最大の論議ポイントは「フォルテ」の今後の運営になりそうですが、詳しくは来月号でご報告することとし、今月号は全体をおして見たポイントについてご説明します。



### 全般

総予算は 4667 億円で、H19 年度の 4987 億円から微減。一般会計は 2668 億円と H19 年度の 2622 億円より微増に見えますが、「繰り上げ償還」や「土地の購入と売却の相殺」を考えれば、ほぼ前年度なみとなります。

### 借金

一般会計の新たな借金は 229 億円。H19 年度の 224 億円よりも増えます。大きなモノとして、北遠地域の防災対策用「消防ヘリコプター」の購入と施設整備や、工場用地の取得などがあげられます。

企業会計や特別会計を含めた「総会計」の借金は 440 億円、返済は 532 億円。この結果、借金残高は、H19 年度末の 5550 億円から 5458 億円に、約 92 億円の減となる見込みです。

「H26 年度末に 5000 億円未満にする」という、健全化目標に向け着実に進んでいます。

### 歳出

H19 年度に比べ「土木費」が減り、「民生費」「教育費」が増えています。福祉政策や教育の充実をめざす、やすとも市長の特徴といえます。

# 「こども第一主義」は着実に前進

## こども第一主義の総予算

やすとも市長の最大の特徴的施策である「こども第一主義」にかかる予算は、H19年度の約43億円から73億円となり、約30億円の増額です。

## 医療費助成の拡充

最大の目玉のひとつ「小中学生 入院医療費助成事業」に1億8千万円を予算化。さらに「通院医療費」については、今後2年間かけて検討していきます。

## バースセンターの設置

産科医師不足の中、安心してこどもを産める地域医療体制をつくるため、医療センター内に、助産師さんに活躍してもらう「バースセンター」を設置します(予算6億円)。

## 30人学級と支援員制度

30人学級を来年度から5校で試行します。現在実施している「小1 多人数学級指導支援員制度」との比較を行い、こどもたちにとって、より良い教育環境を整備していきます。

同時に、浜松市の大きな教育施策の特徴である「支援員制度」も充実します。H19年度526人を619人に増員、とりわけ理科支援員は40人程度に増員します。

わたしの関心の高い「外国人就学支援サポーター」

は25人から30人に引き上げられますが、まだまだ十分ではありません。ただ、時給を@850円から@1200円にすることによって、人材確保はしやすくなったようです(これまでが安すぎます)。

## 浜松教師塾

若手教員から慕われている教師を“師範”として、経験5年程度の若手“塾生”を育てます。1人の師範に2~3人の塾生をつけ、全部で15塾程度立ち上げます。可能な限り、保護者や市民、塾生以外の若手教師にも公開します。

## 学校施設耐震化

H27年度までに予定していた「学校施設の耐震化」を、H25年度に前倒して完了するよう、事業のスピードを早めています。

## 通学路の安全確保

歩道の設置やカラー舗装、側溝の蓋掛けなど、27路線、5255mの通学路の安全確保を実施します(H19年度 23路線、3650m)。

## その他

細かい話ですが、小中学校でこどもたちの教育のために使う備品や消耗品の購入費をH19年度の8億6千万円から9億7千万円に、約1億円強増やします。これもこどもたちのためです。

# 行財政改革も順調に進行

## 補助金の見直し

議会や行革審の指摘により、件数をH19年度の461件から300件に整理統合し、金額も159億円から132億円に減額しています。時代のニーズに合ったものは減らすことなく、行革審の削減目標の5%を超える、9.1%の削減となっています。

## ファシリティマネジメント

資産管理の一元化のために、組織の見直しの中で

「資産経営課」を設置し、縦割り行政に横串をとおり、保有施設などの資産管理の適正化を行います。

## その他

以上の他にも、定数管理を進め、固定費の節減を進めている他、病院経営の見直しや外郭団体への関与のあり方を見直しなど、これまで当たり前に進めてきた施策について、新たな見直しが行われます。

私も問題発見能力を磨きます。

## 「指定管理者の指定について(天竜保養センター若杉荘)」の採決で感じたこと

2月議会に提案された標記の議案について、2/27の本会議で15人の議員が反対しました(私は賛成しました)。この件は、事前に審議した「環境経済委員会」でもさまざまな議論があり、委員会での採決も、賛成6、反対3、棄権1となったものです。

詳細には触れませんが、今回の大きな課題の一つは「指定管理者の選定や評価について、これまでの基準が非常にあいまいだった」ということです。

指定管理者制度は2003年に施行された制度で、公共施設の管理運営に民間のノウハウを導入して、住民サービスを向上させていこうというものです。現在、浜松市内では140箇所を越える施設で導入されています。

しかし、この制度の運用にはまだまだ不十分なところがあります。若杉荘の議論は、まさに現時点の指定管理者制度の選定と評価の不透明さゆえに起こったと思います。議会でも、9月議会の一般質問で、この件について厳しく指摘した議員がおり、私もそのとおりだと思っていました。

そうしたこともあり、遅ればせながら、2/20の「総務委員会」で「指定管理者制度の実施に関する基本指針」が示されました。H20年4月から適用されるこの指針には、これまでの反省を踏まえ、いくつかの変更点が明示されましたので主なものを記しておきます。

### 選定にあたって

これまでは各部局に「検討会議」を設置し、市職員が業者の選定にあたっていました。

今後は、部に設置される「指定管理者選定会議」に、「知識経験を有する者」を加えなければならず」と規定し、中立で専門知識をもつ第三者を加えることになりました。

また、選定基準と選定結果について、HPなどによる公表を義務づけ、透明性を高めることにしました(これまでは「努力義務」でした)。

### チェック体制の強化

これまで指定管理者のチェックは、所管課長が「報告聴取」「施設実査」を行うことになっていましたが、実際には機能していませんでした。今回この体制を改め、下記の2点を加えました。

指定管理者による自己チェックを行うこととしました。内容は、日報、事故・苦情報告、月次報告の提出、利用者アンケートの実施・報告(随時)、年次報告書の提出、業績目標の進捗状況チェックです。

また、施設所管部長が、月次報告書の毎月のチェックや年次報告書の評価、指定管理者評価シートの作成などを確認することになりました。

### 事後評価

指定管理者の年次報告や所管部長の評価シートに基づき、「選定会議」が年度ごとに事後評価を行うことになりました。この評価結果はHPなどで公表されます。

「官から民へ」「民でできることは民で」の流れは今後も変わりません。しかし、民であってもしっかりした評価をしなければ、当然、効果・成果が出ない場合もあります。今回の指針改定で改善は図れると思いますが、運用をチェックするのは議会の仕事です。また、まだ十分に利用者の声が反映される仕組みができていないような気がします。

H20年度は、指定管理者制度を導入している多くの施設が更新時期を迎えます。新たな指針をもとに、より市民サービスの向上につながるようチェックしていきます。

最近のブログから

## 2/26 「多文化共生の地域づくり」

2月議会の会期中ですが、今日は興味深いイベントがあったので参加しました。

「多文化共生の地域づくり」をめざした、NPOのみなさんのフォーラムです。

このブログでも何度か紹介している、静岡文芸大の池上重弘准教授(父ボラ仲間・・・^^;)のコーディネートの下、さまざまな団体のみなさんの活動を聞きました。



今日の新たな発見は、言葉の問題や教育の問題など、これまでも課題意識を持っていたモノの他、健康医療に関する課題です。

医療保険制度は国の問題ですが、地方自治体が放っておいてよいというわけではありません。ふだん仕事で忙しい親や、学校に通う子どもたちへの健診は、生きていく最低限の権利として確保すべきものです。その中で、言葉や費用の問題など、自治体としてサポートすべき、いくつかの示唆をいただきました。

会のしめくりに、池上さんは、「多文化共生社会づくりのポイント」として、大きく「若者の参加」「当事者(外国人)の参加」、そして企業にあっては「労働組合の役割」、地域にあっては「学校と公民館の役割」を挙げていました。

多文化共生について、浜松は日本のフロントランナーにならねばなりません。それぞれが置かれた立場で役割を果たしていくことが必要です。

このブログの読者には労働組合関係者も多いのですが、「外国人労働者」としてとらえるだけでなく、「外国人生活者」としてとらえると、あらたな課題が見えてくると思います。労働組合が現場で感じていることを具現化していくことは、共生社会づくりにおおいに資すると思います。ぜひ考慮していただきたいと思います。

写真はザザシティ中央館5階でおこなわれている、日伯100周年写真パネル展です(3/4まで)。100年前の先人の労苦を思い、今、やれる事をやりたいと思います。

## 田口のブログ《創ろう！元氣な浜松》

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

### 【編集後記】

表紙のイラストご覧いただけましたか？支援者の前田直人さんの手による、私の似顔絵です。みんなから「似てるね～」と言われ、嬉しく思っています。私はさっそくケイタイの待受画面に使っています。みなさんもご自由にお使いください。

2月議会も後半戦に入ります。7・10・11日の代表・一般質問はCATV(ケーブル・ウインディ)で中継されます。市民クラブからは、7日の14時から丸井通晴議員(南区)、10日の13時から袴田修司議員(浜北区)が質問に立ちます。議場またはTVでご覧いただきたいと思います。(草)

## 2月の主な活動

- 01(金) 入野小学校(入っ子まつり)  
本田技研浜松製作所工場見学  
スズキ労連中央委員会
- 02(土) 入野小学校 PTA 奉仕活動
- 03(日) 浜松西政経フォーラム総会
- 06(水) ムンド・デアレグリア学校5周年式典
- 07(木) 環境経済委員会
- 08(金) 総務委員会傍聴  
入野地区自治会長会議
- 09(土) 大平台小学校(学習発表会)  
スズキ労組研修会
- 10(日) スズキ労組中央委員会
- 11(月) 行革審傍聴  
建国記念の日奉祝式典
- 12(火) 活動報告(スズキ都田)  
都市計画審議会
- 13(水) 全員協議会
- 14(木) 活動報告(田端老人クラブ)
- 15(金) 新人議員研修会  
入野地区青少年健全育成会常任委員会
- 16(土) スズキ販売労組中央委員会
- 17(日) 西区まつり
- 20(水) 本会議
- 21(木) 環境経済委員会  
連合浜松との意見交換会
- 22(金) 入野中学校評議員会
- 23(土) 活動報告(志都呂老人クラブ)  
PTA 研究発表会
- 26(火) 多文化共生フォーラム
- 27(水) 本会議～議案説明会
- 28(木) 議案説明会～本会議

## 3月の主な予定

- 01(土) 入野中学校区青少年健全育成会総会
- 02(日) 行革審傍聴
- 03(月)～ 議案調査
- 06(木)
- 07(金) 本会議(代表質問)
- 09(日) 佐鳴湖クリーン作戦  
田端まつり保存会総会
- 10(月) 本会議(代表・一般質問)
- 11(火) 本会議(一般質問)
- 12(水) 環境経済委員会
- 13(木) 常任委員会傍聴
- 14(金) 大都市制度調査特別委員会
- 16(日) 自治会総会
- 18(火) 中学校卒業式
- 19(水) 小学校卒業式
- 21(金) 本会議(最終日)
- 22(土) 保育園卒園式
- 23(日) 静岡文芸大セミナー  
自治会総会
- 27(木) 新人議員研修会  
入野地区自治会連合会期末総会
- 30(日) 入野地区組風揚げ会会所開き  
行革審